

中小企業 診断士による 経営 Q&A

Q 最近、中小企業でもDX（デジタルトランスフォーメーション）が必要といわれています。DXを推進する上でのポイントを教えてください。

A DXとは、単なるIT導入ではなく、デジタルを活用して企業文化やビジネスモデルを根本から変革する取り組みです。大企業向けと思われがちですが、むしろ中小企業のほうがDXの効果は出やすい傾向があります。その理

由は、中小企業の方が意思決定が速く、現場との距離も近いいため、改善の成果が業績や新たな働き方に直結しやすいからです。実際に、顧客との接点をデジタルで強化することで新たな販路拡大やビジネスモデルの創出につながり、売上や生産性の向上を実現し

現場が主体的に課題や改善案を発信できるよう、「対話」の機会や仕組みを整えます。こうしたトップダウンとボトムアップの両面からの働きかけにより、現場と経営が連携しながら変革を進める土壌が育まれます。

また、デジタル化が進んで実行手段の一つが、「ノーコードツール」の活用です。ノーコードツールであれば、専門的なプログラミング知識がなくても業務アプリや自動化の仕組みを構築できるため、IT人材の確保が難しい中小企業にとっては、特に有力な選択肢となります。実

境づくりにもつながります。DXは身近な課題を少しずつデジタルで解決することから始まります。埼玉県中小企業診断協会では、こうした取り組みに対して、現場に寄り

何から始める？ 中小企業のDX

た事例が、中小企業に数多く見られます。

それでは、中小企業ではどのようにDXを推進すればよいのでしょうか。まずは経営者

が「何を変革するか」を明確にして将来のビジョンを描き、現場が変革の目的を理解

納得できるように「説明」することが重要です。次に、

いない企業ほど「スモールスタート」が重要なポイントとなります。いきなり全社的なシステム導入を目指すのではなく、身近な業務から着手す

ることで、成功体験を積みながら着実に進められるという

大きなメリットが生まれま

す。そして、スモールスタートを支える有効かつ具体的な導

導で改善を進められる点もノ

た事例が、中小企業に数多く見られます。

それでは、中小企業ではどのようにDXを推進すればよい

のでしょうか。まずは経営者が「何を変革するか」を明

確にして将来のビジョンを描き、現場が変革の目的を理解

納得できるように「説明」することが重要です。次に、

いない企業ほど「スモールスタート」が重要なポイントとな

ります。いきなり全社的なシステム導入を目指すのではなく、

身近な業務から着手する

ことで、成功体験を積みながら着実に進められるという

大きなメリットが生まれま

す。そして、スモールスタートを支える有効かつ具体的な導

導で改善を進められる点もノ

た事例が、中小企業に数多く見られます。

それでは、中小企業ではどのようにDXを推進すればよい

のでしょうか。まずは経営者が「何を変革するか」を明

確にして将来のビジョンを描き、現場が変革の目的を理解

納得できるように「説明」することが重要です。次に、

いない企業ほど「スモールスタート」が重要なポイントとな

ります。いきなり全社的なシステム導入を目指すのではなく、

身近な業務から着手する